学校番号	1007

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「常用漢字　ダブルクリア　四訂版」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理的な文章を読むことで、論点を整理し、正しくとらえる力を育てることを目指します。
二年次と同様、きちんと授業を聞いて板書を写し、文章の構造や内容を理解できるようにしましょう。
一、二年次に引き続き、授業の中で漢字テストを行います。きちんと勉強しておきましょう。
最終的には論理的な文章を書けるようになることを目標に積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】では、「論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句」、「文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方」を理解することを目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】の「Ｂ読むこと」では、「主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する」ことを目標とする。
【学びに向かう力、人間性等】では、自らの考えを発表できるようになること、文章で表現する態度を示せるようになることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	論点を明確にする ［教材］ 茂木健一郎「最初のペンギン」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b：【話】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	要旨を把握する ［教材］ 本川達雄「豊かさと生物多様性」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b：【読】主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	内容や構成・論理の展開を捉える ［教材］ 岸政彦「物語の外から」	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 b：【書】設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	主張を支える根拠を捉える ［教材］ 石黒浩「鏡としてのアンドロイド」	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b：【聞】主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	データを整理し書き手の意図を捉える ［教材］ 小川眞理子「科学的「発見」とは	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：【読】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c：文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

	結論を導くための論拠を捉える ［教材］ 吉見俊哉「知識における作者性と構造性」	a:推論の仕方について理解を深め使っている。 b:【書】設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c:内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	主張を支える事例を吟味する ［教材］ 岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:【読】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート
	事例の役割と意味を考える ［教材］ 若林幹夫「未来のありか」	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:【読】文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解したり、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間